世界広げる経験を

本学ＯＧ NHKアナウンサー 守本奈実さん INTERVIEW

本学のOGである守本奈実さんは、NHKのアナウンサーとして、報道やドキュメンタリーといった様々なジャンルの番組で活躍している。彼女は、5年間地方局で経験を積み、東京アナウンス室に転勤した。ニュースの重みと向き合う日々の中で、時折、大学生の時に学んだことを思い出すと言う。それは、世の中の出来事に対して、明確な自分の意見を持つことだ。広い視野を持って物事を考える守本さんの姿勢には、私たちが勉強やサークル活動、アルバイト、そして就職活動をする際にも、参考になるものが多くあるに違いない。

有意義なキャンパスライフ

現在、NHKのアナウンサーとして活躍している守本奈実さん。彼女は、一体どのような大学生活を送っていたのだろうか。

「緑に囲まれ、少人数でしっかりとした教育が受けられる点に惹かれて、学習院大学に入学しました。4年間かけて様々な事柄を学んでいきたい、という思いから、たくさんのことに挑戦したんです。学業では、専攻の英米文化科（＝現・英語英文学科）の授業に励むだけでなく、教員を目指して教職の科目も履修しました。さらに、学生放送局と心理学研究部での活動を通じて、話し方やイベント運営の技術を学んだだけでなく、多くの仲間たちと青春を満喫しました」

コンテストでトロフィーを受け取る守本さん（右から２番目）

プロセスの重要性

そのような充実した学生生活を送っていた1年生の秋、彼女に転機が訪れる。それは部活動の一環で、首都圏にある放送系サークルの学生が10分間のラジオ番組を作る『キャンパスDJコンテスト』に参加した時のことだ。

「本番に向け、聞き手に少しでも分かりやすく、また楽しんでもらえるよう仲間と協力して、音楽やセリフを考えました。一から作るのは簡単ではありませんでしたが、努力の甲斐あって優勝できました。しかし、頂点に立ったからといって、ラジオ局からスカウトされたわけではなかったんです。肩書きや称号は得られたのですが、それだけでは意味がないことを学びました。今思えば私の学生生活で最も楽しかった出来事であり、最も辛い出来事でした」

そこで守本さんは、結果だけではなく過程の大切さを痛感したそうだ。大きな葛藤と対峙する中で、新しいアルバイトと出会う。

「オファーが来なくて落ち込んでいた頃、求人情報誌で特撮ショーのMCというアルバイトを見つけました。面白そうだなと思い、すぐに応募したんです。ところが実際に働き始めると、想像以上に大変でした。最初は、音楽や効果音のタイミングに合わせた話し方など、先輩を真似するようにしていました。その後は、どうすれば見ている人を魅了できるのか、気持ちよくお出迎えやお見送りをを出来るのか、反応を見ながらいろいろと試しましたね」

また、平日の夜には練習があり、授業を終えてから向かい、終電で帰る日々が続いた。実家からバイト先までは電車で2時間ほどかかっていたため、勉強との両立など、時間の使い方が難しかったという。

「自分の好きなことをやっていたので、その時はあまり大変だと感じませんでした。でも今考えると、とてもハードな生活を送っていたと思います」

彼女はこのアルバイトを通じて、人の惹きつけ方や喋り方を身に付けた。そうした経験が、現在も土台として活きている。

会見に臨む守本さん（右）（提供ＮＨＫ）

将来を見据えて

3年生になって本格的に就職活動を始めた守本さんは、仕事について3つの選択肢で悩んでいた。では、なぜ今の職業に決めたのだろうか。

「教職の科目を取っていたので、英語の先生や、コンテストで優勝したこともあって、ラジオのDJにも興味を持っていました。一方、テレビ局のアナウンサーは小学生の頃から憧れていたんです。あらゆる選択肢がある中で、どの仕事に就くか悩んでいた時、NHKのドキュメンタリーに、とても勇気づけられたんです。ぜひそうした番組の制作に携わってみたいと夢を抱いて、NHKのアナウンサーを目指そうと決めました。けれども、実際に就職活動を始めると、世の中にはおびただしいほどの情報が溢れていました。その中から正しいものを選び、振り回されないようにするのは、大変難しかったですね」

土地の文化を感じて

最初に守本さんが配属されたのは、九州の大分放送局であった。そこでは、単にニュースを伝えるだけでなく、地元の人に取材し、自分でまとめてリポートすることも多かったそうだ。

「担当した仕事は様々で、お天気中継や高校野球の実況、さらにはドキュメンタリー番組を提案して制作に携わったこともありました。まさか自ら構成を立てたり、ロケに行ったりするとは思わなかったし、実際にやってみると大変でしたが、うまくいかない時は、先輩方が親身になって教えてくださいました。朝早くに出局して、みっちり指導していただいたこともあります」

入局して2年後、彼女は福岡放送局に異動した。

「博多は、博多祇園山笠という700年以上の伝統を持つ祭を中心にして一年が回っている、そんな土地です。仕事を通じて、文化の尊さを感じました」

情報を伝えるということ

2009年、活躍の場は東京アナウンス室に移った。一つひとつの仕事に対する責任も重くなっていく。

「アナウンサーはリレーの最終走者に例えられることがありますが、本当にその通りです。大勢のスタッフが取材して、音声や映像を編集して作り上げたものを、最後にアナウンサーが視聴者へと伝えます。とても重みのある仕事ですね」

特に、2013年1月に放送された『NHKスペシャル』では、深海のダイオウイカの撮影に世界で初めて成功し、世間に一大ブームを巻き起こした。守本さんは、この番組のナレーションを担当することになった。

「この映像は、なんと10年以上の歳月をかけて捉えた奇跡の瞬間なんです。58分間に、作り手の想いがたくさん詰まっています。そこにコメントを付けて声を吹き込むというのは、本当に緊張しました。ですが、アナウンサーとしてそういう番組に携わることが出来て、とても良かったです」

こうして、地方で得た人との繋がりを糧に、時には重圧を感じながらも、東京で多くのことを経験し、学んできた。そして4月からは、土日と祝日の『ニュース7』でメインキャスターを務める。ニュースに向き合う姿勢は変わらずとも、一人で背負うものは増していくだろう。

「これまでは、平日の『ニュース7』でサブキャスターを担当してきました。そのことを活かし、今後はさらに信頼感のあるキャスターを目指したいです。例えば地震が起きた時、どんな言葉で、強さで、タイミングで、避難を呼びかけるか。非常時の判断材料になる情報を、正確に届けることが大切だと思います」

未来に歩む皆さんへ

最後に、新入生やアナウンサー志望の学生に向けて、メッセージを頂いた。

「試験の合格はゴールではなく、通過点に過ぎません。これから先、興味を持ったことには何でも挑戦し、世界を広げることが大切だと思います。アナウンサーを目指している学生も、様々なことに興味を深めてほしいです。あらゆるジャンルの番組があるので、必ずどこかで役立ちます」

大学は、限られた分野の学問を勉強する場所だ。しかし大学生活では、彼女のように多くの経験を重ねることが、将来の自分自身にとって大切なのだろう。

PROFILE　守本奈実（もりもと・なみ）
◇1981年１月18日生まれ、千葉県流山市出身。
◇文学部英米文学科（現・英語英米文化学科）卒業、2004年ＮＨＫに入局。地方局で勤務後、2009年に東京アナウンス室へ配属される。「ニュース７」「首都圏ニュース８４５」を始め、多くの番組でキャスターを務めている。

取材　小古間貴史　平山　雄己　横原　美樹　斎藤　季映
取材協力　ＮＨＫ

コラム「アナウンサー」という仕事

守本さんはアナウンサーとして、日頃から何を心がけているのだろうか。それは「時間の許す限り疑うこと」だと言う。正確にニュースを読まなくてはいけないので、この言葉や表現で伝わるか、アクセントはどこにつけるかを何度もチェックする。漢字の読み方を間違えると大きく意味が変わってしまうため、細心の注意を払う必要がある。また、ニュースなどの原稿は、内容に沿って文章を繋げたり切って読んだりしなければ本来伝えたい意図とずれてしまうことや、よく使う専門用語でも十分説明しないと視聴者に理解してもらえない恐れもある。そのため、本番の直前まで確認し、常に疑いの眼差しを向けることが重要なのだそうだ。また、温かい飲み物を飲むようにしたり、のど飴を常備したりするなど、体調にも気を配るようにする。このような気遣いが、アナウンサーの職務を全うする上で重要なのだ。

毎日の仕事で疲れた時には、リフレッシュも必要だ。守本さんは、趣味を満喫して息抜きをすると言う。習い事の英会話やアルトサックス、ボイストレーニングに加えて、コンサートやライブ、落語をよく見に行く。抑揚のつけ方や表現の仕方がアナウンサーのナレーションと違うので、参考になる点が多くある。さらに、休暇中には海外旅行に出かけることもある。このように外の空気を吸うことは、気分転換になるだけでなく、視野を広げるので、より心が健康になるのだそうだ。

世の中で起きた様々な出来事を的確に伝え、視聴者が物事を考える判断材料を提供するのがマスコミの使命である。重責であるからこそ、最後まで考え疑うことが大切なのだ。もし仕事で煮詰まったら、癒しのひと時を過ごす。アナウンサーは、視聴者のために努力している。彼女の役割を再確認すると、ニュースを見る目も変わるはずだ。（美）

明窓浄机

大学生になってアルバイトを始めた。その結果、会話する機会が以前と比べ格段と増えた。人と接することが好きな私は、相手の経験や想いを聞くだけで時間を忘れられる。これは、様々な窓を見ることに例えられるのではないか▼普段の生活の中で電車に乗っていると、多くの窓が目に入ってくる。ただ、自分が生涯で出会える人間の数は、世界の人口を考えれば、ほんの一握りだろう。そして、ふと立ち止まった時「もしかすると、他の人生があったかもしれない」と思うことがある。こうした様々な景色を眺めながら自分なりのルートを歩み、今が存在する▼列車から見える多種多様な窓の数々は、誰かの人生の象徴と重ね合わせられると感じるのだ。私が見えなかったものを見て、聞けなかったものを聞いた人たちがいる。さらに、触れられなかったものに触れた人たちもいる。会話によって、その人物が成し遂げてきたことを知り、自分の生き方を見直す機会となるのだ▼有名な四字熟語に「一期一会」がある。この言葉の意味にのっとるなら、出会いを大事にしなければならないだろう。これから巡り会っていく他者も、自分とは違う道を歩んでいる。だからこそ、その人との一つひとつの会話を大切にして、新たな発見をしていきたいと思う。（生）

学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区
目白１丁目５番１号
黎明会館316号室
電話 03（3986）0221内線2607
http://gakushuin-press.org/
発行・編集人　平山雄己
年間500円

BOOKS HORINDO
芳林堂書店
http://www.horindo.co.jp
高田馬場店 03-3208-0241
コミックプラザ　所沢駅ビル店
東長崎店　航空公園駅店
新井薬師前駅店　イーサイト上尾店
鷺ノ宮駅店　みずほ台店
汐留店　津田沼店
大井町店　関内店
平井店　センター北店

2・3 学習院の歩き方

春からリアルで充実した生活を目論む新入生のあなた！　学内の施設情報を網羅して、気になるあの子に良い所を見せよう！

紙面紹介

4 絶品グルメ情報

意外と知らない目白のお店。思い切って足を踏み入れてみれば、お気に入りの一店に必ず出会えるに違いない。

大新劇場

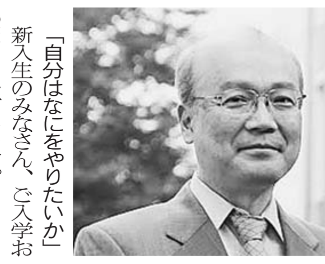
新入生の皆さん、大新って知っていますか？　年８回、学内スポーツから旬な特集まで幅広い情報を掲載した新聞を発行しています。ぜひ、新歓期は黎明316号室までどうぞ！（英）

MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO
学習院大学の新入生のみなさまへ
口座開設は、みずほ銀行で！
スマホで完結！
かんたん口座開設

郵送不要！　早い！　かんたん！　みずほ銀行から、とっても便利なアプリサービスが登場！
かんたん口座開設
【みずほ銀行スマートフォン専用ページ】から『かんたん口座開設アプリ』をダウンロード!
http://www.mizuhobank.co.jp/sp/app/kouza/index.html
みずほ銀行ではじめて口座を開設される、満18歳以上で、スマートフォン、運転免許証をお持ちの方がご利用いただけます。
※アプリ以外にもみずほ銀行の店頭や郵送でもお手続きいただけます。くわしくはみずほ銀行ホームページをご確認ください。
今ならキャンペーン実施中！
新生活「夢を力に!」キャンペーン
期間　2014年2月1日（土）～2014年5月31日（土）
サッカー日本代表グッズがもらえるチャンス！
くわしくは、お近くのみずほ銀行店頭またはみずほ銀行ホームページまで。
アプリ検索なら　かんたん口座
みずほ銀行ホームページ
http://www.mizuhobank.co.jp/
One MIZUHO 未来へ、お客さまとともに

未来を拓く新入生へ ～4学部長寄稿～

法学部長 津村政孝教授



「自分はなにをやりたいか」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

受験で入学した皆さんは、当面の目標をクリアして、ほっとしている時期でしょう。しばらくはゆっくりするのも良いことです。しかし、皆さんは入り口を通過したにすぎません。これから何をするのかが大事です。大学でやりたいことや卒業してやりたいことがあって入学したのであれば、やりたいことに突き進みましょう。明確な目標が無いまま入学した人は、自分が何をやりたいのかをじっくり考えましょう。少し状況がみえてきて、方向転換したくなったら、これもじっくり考えましょう。

おそらく、皆さんは人生の中でもっとも時間に余裕がある時期にいるのです。これから4年間はあると考えると、長いように思うかもしれませんが、振り返ってみるとあっという間だったと感じるかもしれません。人生は長いのですが、わたしだけでなく、多くの人が年齢を重ねるにしたがって、ときが過ぎていくスピードはどんどん速くなると感じていると思います。

覚悟をもって状況に流されるのはある意味で見事ですが、覚悟もなしに流されるのはもったいない。1度だけの人生ですから、自分がなにをやりたいかをこの時期に真剣に考えてほしいです。

経済学部長 遠藤久夫教授

「経済学部で学ぶということ」

皆さん、学習院大学経済学部にようこそ。心より歓迎します。大学生になった皆さんは、目の前の大学生活に期待を膨らませていると思います。事実、大学生活は楽しいものです。ここで、皆さんは経済学部の学生なので経済学や経営学を学ぶ意味を考えてみましょう。

一般に経済学部を志望する動機は、経済学や経営学に興味をもったというより、何となく「就職のとき潰しが効くから」といったものが多いのではないでしょうか。経済の仕組みを研究するのが経済学です。組織の管理運営について学ぶのが経営学です。確かに、これらに本当に関心を抱くには、社会人となって企業で働いたり、家計のやりくりをするという経験が必要かもしれません。しかし、今日の日本は財政赤字。経済成長の鈍化など厳しい状況にあります。皆さんも4年後にはそのような環境に飛び込んでいくわけです。その際、経済学や経営学の理解はきっと役に立つはずです。

経済学部には日本が抱える課題の解決に第一線で取り組んでいる先生が数多くおられます。日々の授業を受け身でとらえるだけでなく、積極的に取り組んでみてください。そうすれば多くのものをつかみ取ることが出来るでしょう。

文学部長 有川治男教授

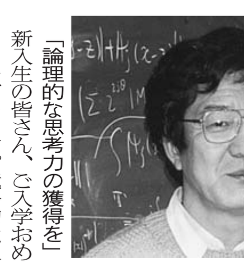
「自由に学ぶ楽しさを知る」

学習院大学で勉強を始める皆さんに、心から「おめでとう」の言葉を贈ります。皆さんはまだこれからの大学生活について、漠然としたイメージしか持っていないかもしれません。けれどもこれから半年、1年と経つうちに、学習院大学で学ぶことの素晴らしさを、少しずつ実感してゆくことになると思います。そして、ほとんどの人は、勉強することの本当の楽しさを知ると思います。

なによりも、大学には高校までの学校生活にはなかった大きな自由があります。自分で好きなように勉強ができることは言うまでもありませんが、その逆に、勉強をしない自由だって大学にはあるのです。大学では部活に専念したいと思う人もいるでしょう。大学は卒業だけ出来ればいい、むしろ自由な活動に多くの時間を使いたい、と考える人もいるでしょう。大学という場には、そのような自由さえあります。これからの4年間どのように時間を使うか、それは皆さんの自由なのです。

それでも私は、皆さんがその時間を「勉強の楽しさを知ること」に使ってもらえればと願っています。「勉強すること」ではなく、「勉強の楽しさを知ること」です。大学での勉強は社会へ出た後にも続く、本当の勉強の始まりだからです。

理学部長 谷島賢二教授



「論理的な思考力の獲得を」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。競争的な入学試験のための長い間の受験勉強が終わりました。これから試験がなくなる訳ではありませんが、当面は大きな自由時間が得られます。

この自由な時間を、自己の開発と自分の夢の実現のために有効に使って、学生生活を大いに楽しんで欲しいと思います。勉強に、部活に、友人のために使うのも良いでしょう。また、ボランティアを通じて社会と交流したり、留学して自分の興味や視野を広げるのも良いことです。

こういったすぐ後に勉強のことを言うのは野暮ですが、学生の本分は勉強です。また皆さんは自ら学ぼうとして学習院大学理学部に入学されたと仮定されていることは忘れないで下さい。はじめは少し忍耐の必要な基礎トレーニングを要求されます。しかし自然科学を学ぶことにより科学的で合理的な、そして論理的な考え方が身に付きます。人生において、ずっと武器になります。

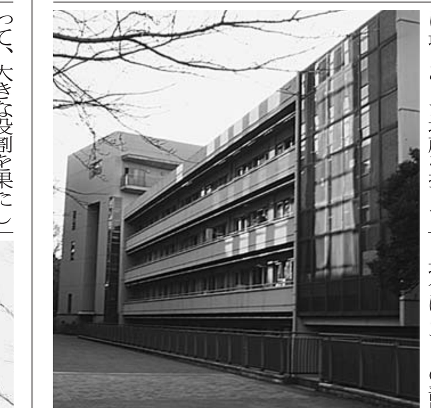
新鮮な気分で新しいことを学ぶのはとても楽しいことです。勉学をその中に組み入れることにより学校生活がより楽しく実りあるものになるはずでしょう。理学部教員は皆さんの勉学を強力に支援していきます。

以上、4学部長から新入生へのお言葉でした。

光れ青春！ ①黎明・富士見会館

大学に入学して「課外活動に取り組みたい」「何か新しいことに挑戦したい」という気持ちの人もいるに違いない。そんなときはまず、黎明会館と富士見会館を見学してみてはどうだろうか。

課外活動の本拠地となっている黎明会館には100以上もの団体の部室がある。ここはいつも学生たちの楽しげな声が絶えず響いており、活気に満ち溢れている空間だ。すでにどの団体に所属しようか決まっている人も、そうでない人も、躊躇わずに色々な部室を覗いてみよう。どこに行っても、優しい笑顔で迎えてくれるはずだ。この時期は、仮入部をいくつかして、友達の輪を広げ、自分に最もあった場所を探してみるのが良いだろう。


出会いを求めるならまずここへ

この2つの建物は、3つの連絡通路で繋がっている。そして、富士見会館もまた、クラブ棟として学生たちに不可欠だ。こちらには多目的ホール、和室、道場、アトリエといったあらゆる用途で使える部屋が完備されている。そこでは思いきり部活動に熱中できるだろう。私たちも会議を行う場合はこちらの部屋を使用する。大学新聞社も部室は黎明会館の316号室にあるが部室を探すときに少々難点がある。紹介した建物は坂の上に建っているため、入口の部分が2階になっているのだ。この構造を知らない人は、例えば3階にある大学新聞社の部屋へ行く際、誤って4階まで上がってしまう。しかし、この記事を読んだあなたならきっと間違えることはないはずだ。

学生の本分は勉強であるが、講義だけでは学べないことがこの場所にはたくさん詰まっている。新たな交流を探して一歩踏み出してみよう。（竹中俊介）

君を支える ②中央教育研究棟

平成22年に竣工した中央教育研究棟は12階建てだ。しかし、本棟が誇るのは学内随一の高さだけでない。

まず、1階には学生センターがあり、課外活動や奨学金、履修関係の相談が可能だ。さらに、落し物の管理なども行われている。学内で貴重品などを置き忘れてしまった場合、ここに来て確認してみるのが吉だ。なお、窓口の開室時間は平日であれば8時40分から16時45分まで。しかし、土曜日は12時30分までと短いので注意が必要である。また、同階にはSUBWAYが営業している。お昼時には大勢の学生が列を作るほどの人気ぶりだ。友人と昼食をともにし、有意義な時間を過ごそう。

2階へ上がるとすぐ左手には、国際交流センターが見える。ここでは各国の留学生と会話したり、留学についての情報を得たりできる。職員や経験者が懇切丁寧に教えてくれるので安心だ。また、留学協定校に関する説明会も行われるため、興味があればぜひ参加し視野を広げるべきだ。

さらに、この建物には前述の国際交流センターに関連して、外国をより身近に感じさせてくれる施設がある。それが6階にある外国語自習室・閲覧室だ。自由にDVDの視聴やコンピュータを使った学習が出来る。落ち着いた雰囲気の中で外国語を自習できる環境は、他に類を見ない。加えて、この階には教職課程の事務室がある。ガイダンスで分からなかったことは、ここで聞こう。ちなみに、エスカレーターでは4階までしか行けないため、それより上の階へは階段もしくはエレベーターを使おう。

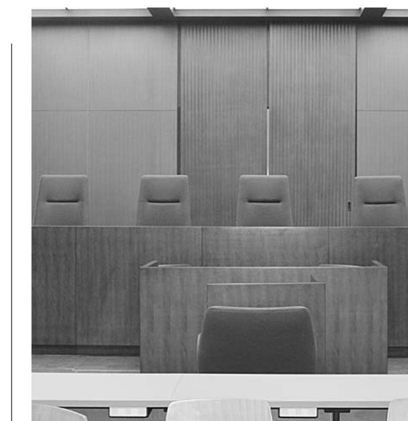
最上階にはレストラン松本楼がある

このように、中央教育研究棟は私たちに優れた利便性を提供してくれる。当施設を知れば、誰しもより一層快適に過ごせること間違いなし！（竹中俊介）

勉強も運動も ④西2・西5号館

大学では、高校とは異なり、学科などによって使う施設は異なる。しかし、ここで取り上げる西2号館と西5号館は多くの学生にとって、大きな役割を果たしているといえる。

まずは、西2号館の説明をしよう。1階には、指定教科書が揃う成文堂書店がある。さらに、ここには各種資格試験の参考書なども充実している。そして、2階から4階にあるのは、大小様々な教室だ。授業の際は教室の前列に座って、内容をしっかり理解することをおすすめしたい。続いて5階にあるのは、模擬法廷。地方裁判所とほぼ同じ構造で、法学部の演習などで使用されている。また、地下1階はトレーニングルームとなっており、最新設備が整っている。主に運動部の学生が頻繁に使うイメージがあるが、その一方、そうでない利用者も多い。なお、使用するには学生証の携帯と、事前の講習を受ける必要があるので要注意だ。


臨場感溢れる模擬法廷

では次に、西5号館を見てみよう。その中で、特に4階のキャリアセンターは多くの学生がお世話になるだろう。就職活動支援だけでなく、1年生からキャリア相談をすることが出来る。こうしたサポートは、将来を決める上で大きな助けとなるはずだ。遠慮せず、積極的に活用しよう。

地下1階には大講義室などもあるが、最大の特徴は1階の学生ホールだ。ここはガクホと呼ばれ、皆に親しまれている。入口近くにある売店では弁当や飲み物だけでなく、冬には暖かいコーヒー、夏にはかき氷などが味わえる。友達と昼食をとったり、談笑したり、まさに青春の一ページを彩るに相応しい場所だ。

目立つ赤レンガ造りが特徴

これらの汎用性に富んだ両棟の使い方は自分次第である。それぞれの良さを生かして、これから4年間の学習院ライフのために役立ててほしい。（菊井章）

腹ペコ大集合 ③輔仁会館

お腹がすいた。さてどうしよう。そんな時は、ひとまず輔仁会館に立ち寄ることをおすすめする。

1階にある食堂カフェテリア杜は春季休業中の工事を経て、内装が一新された。平日は11時から19時まで、土曜日は14時まで営業している。良心的な価格ながらボリュームのあるメニューは、懐にも胃袋にも嬉しい仕様である。しかし、新歓期の4月は一段と混み合うため、席が確保できない日も多い。こうした場合には、入口付近でテイクアウトの丼を買って、食堂以外の場所で食べることも可能だ。

外階段を上ると、軽食を購入できるさくらラウンジがある。気軽に立ち寄れる喫茶室となっており、食事をしながらゆっくりと談話を楽しめる。ここでは、週ごとに味が変わるアイスクリームが人気なので、ぜひご賞味あれ。

同じ2階にあるセブンイレブンは、昼休みはレジに長蛇の列が出来るほどの盛況ぶりである。利用する際は、時間にゆとりを持って行くと良いだろう。7時から22時まで、我々の学生生活を支えてくれる心強い味方だ。

さらに、学習院の限定グッズを販売する大学売店もこの建物に入っている。お菓子については、ロゴの入った煎餅やクッキーを取り揃えているので、お土産を買う時に覗いてみよう。

学生たちの憩いの地

敷地内での食事処は他にもあるが、選り取り見取りのラインナップは当館が随一だ。食べ盛りの学生御用達の場所になること請け合いである。（森本麻優）

学内PC事情

現代は便利な物が増えた。調べものをしたい時、インターネット検索をすると秒速で調べることが出来る。ノートを友人から借りた際、手写しではなくコピー機を動かせば一瞬だ。そんな文明の利器を学内のどこで使えるのだろうか。

一番手軽に利用できるのは西2号館1階にあるガラス張りのパソコン室だろう。同館入口には、立って使用するコンピュータも並んでいる。さらに同階には、タダコピというものも設置されている。登録をすれば無料でコピー機が使えるのだ。構内の最南に位置する南5号館には、約180台分の座席が用意されている。スキャナーや各種用紙、カラー印刷機など他の場所には無いものが取り揃っている。ちなみに、一日に印刷できるのは40枚までだ。それを超えてしまうと印刷制限がかかってしまうことがあるので気を付けよう。

最後に学内のコピー室の位置を説明する。これは、西5号館の裏2階にある。台数が多いにもかかわらず、テスト前には行列が出来ることもしばしばだ。

ここで注意してもらいたいことがある。学内のパソコンを利用するには「初等情報処理Ⅰ」または「情報処理入門Ⅰ」の単位取得が必須だ。これらに留意した上で機械を上手く活用し、大学生活を十分に謳歌してほしい。（鹿）

理系は必見 ⑤南4・南7号館

構内の最も南側に、1号館から7号館までの建物が集まっている。ここでは、理学部の学生が日々研究に勤しんでいるのだ。今回は、その中でもよく利用される南4号館と南7号館に絞って紹介していこう。

計算機センターの向かい側に位置するのが南4号館で、理学部図書館が入っている。1階には化学・物理学・生命科学、3階には数学の専門書が揃う。約10万冊もの蔵書を誇っており、電子ジャーナルや外部データベースの閲覧も可能である。豊富な資料に加えて、最新の情報も手に入るため、論文作成などで役立ててもらいたい。

また、11部屋もある数学科セミナー室は学生が自由に使うことが出来る。一人で集中して学習したり、友人と意見交換を行ったりと、有効に活用してほしい。本館には各教員の研究室もあるので、指導を仰ぎ見識を深めよう。

続いては、南7号館。落ち着いた茶色の外観と広いエントランスが特徴的だ。全階に実験室が整備されていて、最新の器具を使った実験にきっと興味を惹かれることだろう。比較的新しい建物なので、他の伝統的な施設とは一線を画した、近代的な様相を味わえる。なお、理学部生は個人ロッカーを利用できる。その隣には自習スペースもあり、コンセントが備え付けられていて電子機器の使用に便利だ。理学部生にとって心地よい勉学の場といえるだろう。それらを上手く用いて、勉強に励んでもらいたい。1階に事務室があることも覚えておくと、いざという時に役立つ。

理学部生が使用する施設はもちろん、これらだけではない。行き届いたあらゆる機器を駆使して、あなたもノーベル賞級の発見を目指せ！（菅野友里江）

明るく設備の整った自習室

追求の入口 ⑥東2号館

[illegible]

囲気の1階には、自習室と休憩スペースがある。机と向き合い、自身の課題を進めたい人は、私語禁止の自習室を利用する。一方、[illegible]で手続きをすれば入れる。それだけでなく、パソコン室やグループ学習室も用意されているのだ。そのため一人でも、多人数でも課題を進めるのに便利であろう。

そして、さらに上階へ行くと法学部と経済学部の共同研究室など[illegible]や資料などが置いてあるのだ。また、課題などが出された際、ここにあるボックスへ提出するように指示されることもあるので覚えておくべきだ。

法学部と経済学部の学生ならば、今後この施設を頻繁に活用することになるだろう。もちろん、他学部の学生でも利用は可能なので、機会があれば赴いてみるのも良いかもしれない。これらの設備に驚嘆するはずである。（長谷川恵梨）

光のさす空間で勉強できる

失敗しない時間割

[illegible]

教育を思い見る ⑦北1号館

昨年度、教育学科の開設にあわせ改装されたのが、北1号館だ。4階建てとなっており、広い本学の中で最も新しい。ここがどのような場所なのか、詳しく見ていこう。

1階には、教務課や学生課、キャリアセンターなどの掲示板がある。ここに出される情報は、非常に重要なものが多い。故に、こまめな確認を忘れないようにしよう。さらに、運動場や用具の貸出を行っているスポーツ・健康科学センターの事務室もある。授業の空き時間などには体を動かして、ついつい不摂生になりがちな生活を整えるのも良いだろう。他にも講義で使われる多くの教室があり、あらゆる場面で活躍する建物なのだ。

綺麗な白い壁が目印

また、この施設は主に教育学科の活動拠点になっている。1階にピアノの練習室、家庭科の実習や理科の実験で使用できる多目的室といった、教職関連の授業に必要な教室がある。その上、2階には学科の事務室や研究室があり、分からないことは遠慮せず教員に質問すると良い。そして、専門書庫にある教科、教育に関する様々な書籍からは新たな見識を深められる。未来の教員を目指して、これらの充実した設備をぜひ有意義に活用してもらいたい。

さらに、本棟の特徴としてもう一つ挙げられるのが、東洋文化研究所の存在だ。ここでは、アジアの政治や歴史、文化などの分析を進めている。プロジェクトを中心に研究成果の発表や、講演会といった精力的な活動を行う。3万冊もの東洋学の蔵書があり、自由に閲覧可能だ。課題などの参考にすれば、より良い内容が書けるだろう。

体調管理のためのスポーツ、日本の教育に対する考察に、グローバルな視点の育成。このどれか一つにでも興味があるならば、多岐にわたる機能を有する北1号館へ。（菅野友里江）

知識の集積 ⑨大学図書館

大学生になるとレポートを書く機会が増え、かなりの頻度で文献にお世話になるだろう。また、今まで以上に本をたくさん読みたいと考えている人も多いはずだ。そんなときは、大学図書館を利用しよう。ここに所蔵されている資料は、約43万冊にも及ぶ。

最初に、この建物の構造を見てみる。1階と2階には、最新の雑誌や古書といった多様なジャンルの本が並ぶ。3階は、パソコンの使用や自習ができる空間だ。静かで集中しやすい環境であるため、テスト前には勉強に励む学生の姿が多く見られる。そして最上階は、休憩スペースとなっており、この場所のみ飲食することが可能だ。

次に、利用方法を確認しよう。まず、入館する際には学生証が必要だ。借りたい本が見つかったら、自動貸出機または、1階のカウンターで手続きをしよう。一度に借りられるのは、図書・雑誌それぞれ10冊までである。期間は図書が2週間で、雑誌が1週間となっている。なお延滞した場合は、資料の返却後、遅れた日数分貸出停止となってしまうのでご注意を。

日曜日は閉館なので要注意

多くの書籍の中から自分が必要なものを探すのは大変かもしれない。そんな時に便利なのが「GLIM/OPAC」だ。これを使えば、膨大な資料の中から求めるものを容易に検索し見つけ出せる。さらに、協定を結んでいる他大学図書館から資料を取り寄せることも出来る。

大学生活に欠かせない図書館。設備や蔵書が充実している、これらの施設を利用しない手はないだろう。ぜひ足を運んでみてはいかがだろうか。あなたがここで学んだ知識は、将来の自分を形作る上で役立つに違いない。（渡邉由依）

過去から学ぶ ⑧北2号館

正門から学内に入ると、右手に木々の間から白く立派な北2号館が目に留まる。この建物は、文学部棟という愛称で親しまれており、その名の通り、文学部各学科の事務室・研究室・図書室がある。

この施設はどのようになっているのか。1階は史料館となっており、貴重な収蔵品の展覧会も開催される。入場は無料なので、一度行ってみるのも良いだろう。2階より上は、文学部の学科別のフロアが続く。各階の廊下には、G-Portに書かれていない、履修や授業に関する重要事項が掲示されている。それ故、定期的に確認しに行くことをおすすめしたい。また、留学や展示会などの情報もあるので、文学部生に限らず興味がある人は行ってみよう。

次いで各階の部屋を説明したい。フロアごとに事務室と教授の部屋が並ぶ。そして、閲覧室や談話室が設けられており、自習をしたり、話し合ったりする学生で溢れている。閲覧室には、学科別の専門的な本が多く取り揃えられているため、演習課題を作成する際には最適の場所なのだ。

ただし、学科によって事務室の受付の時間が異なる点に注意したい。特に課題の提出には、時間の余裕を持つことが大切。提出時間が過ぎたら受け取ってもらえないので気を付けたい。また利用する場合には、それぞれの部屋の飲食や私語といったルールを守るように心がけるべきだ。

多彩な展示会のポスターが並ぶ廊下

北2号館に行けば、文学を学ぶ活き活きとした生徒を見ることが出来る。皆にとってここは、自分の研究に没頭するだけでなく、仲間と語り合える特別な場となるだろう。（渡邉由依）

伝統の証明 ⑩百周年記念会館

学習院が創立されてから百年の節目を祝い昭和53年に建てられたのが、百周年記念会館である。この施設の存在が、学習院の長い歴史を裏付けているといっても過言ではない。

これまでの歩みが記された院史資料の展示コーナーや、皇室専用の特別控室など、ここにしか無い特徴だ。またこの場所を語る上で欠かせないのが、1階にある正堂だ。卒業式などの式典だけでなく、大学祭ではミュージシャンのコンサートや芸能人によるトークショーなども行われる。そして、毎年4月中旬に開催される「オール学習院の集い」では、幼稚園から卒業生まで全員で行う大演奏会などが上演される。このように、様々な行事に使われる場所なのだ。さらに小講堂もあり、これらは用途によって使い分ける。

2階には大小二種類の会議室があり、桜友会の活動や各部のOB会など幅広い目的で用いられる。しかし、在学中は富士見会館等を借りることが出来るため、こちらはあまり縁が無いかもしれない。ここは在学生以外に、OB、一般の人も使用可能である。ただし原則として、利用は院内の行事が無い場合に限られ、料金もかかることは覚えておこう。これらのことから、百周年記念会館は私たち在学生だけではなく、たくさんの人にとって重要とされている。

桜友会の本部も入っている

新入生がここへ最初に訪れるのは、おそらく入学式だろう。他大学は外部の会場を借りて式典を行うことが多い。そのような中、私たちはこれほど素晴らしい施設を、キャンパスにいながら使用することが出来る。本学のこれまでの伝統を理解し感謝した上で、学習院生としての自覚を持ち、晴れ舞台となる入学式に臨もう。（菊井章）

BOOKS売上ランキング

2014年 3月1日～3月15日　芳林堂書店（高田馬場店）

	文芸書部門		文庫部門
1	季刊乃木坂早春1　乃木坂46　東京ニュース通信社	1	白ゆき姫殺人事件　湊かなえ　集英社文庫
2	創作の極意と掟　筒井康隆　講談社	2	フラニーとズーイ　J.D.サリンジャー　新潮文庫
3	人生はニャンとかなる！　水野敬也　文響社	3	木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか㊤㊦　増田俊也　新潮文庫
4	カレイドスコープの箱庭　海堂尊　宝島社	4	ルーズヴェルト・ゲーム　池井戸潤　講談社文庫
5	連写特殊遊撃捜査隊　今野敏　朝日新聞出版	5	幸福な生活　百田尚樹　祥伝社文庫

国内旅行・合宿・貸切バス・海外旅行・格安航空券
e-mail info@t-forum.co.jp
皆様の旅を一層楽しくするサイトです。宿検索や格安ツアー・サークル登録まで。是非一度のぞいてみてください！！
お見積もり・相談無料！
合宿・団体旅行　テニス・野球・体育館・水泳・スタジオ・ホールetc. あらゆるニーズにお答えします。
貸切バス・トラック　少人数からOK！みんなでわいわいがやがや。手荷物なしでお気軽に。
格安航空券　世界中の何処へでも。団体から個人までどこまでもお安く!!!
Travel Agency Forum　トラベル エージェンシー フォーラム
スキー・スノーボード　こんな料金で!? ビックリプライスでお待ちしております。
沖縄・北海道合宿　本島を離れ大自然の中でリゾート気分での合宿はいかがですか？
海外旅行　卒業旅行、長期滞在etc. ご予算に応じて安全で楽しい旅を
個人旅行　各交通の手配や温泉旅行まで
新宿本社　東京都新宿区新宿3-3-2 新宿地下鉄会館7階 03-3355-8787
http://www.t-forum.co.jp
八王子支店　東京都八王子市子安町4-5-5 0426-21-0010

証券アナリスト通信教育講座
第1次レベル申込受付中（申し込みはインターネットで http://www.saa.or.jp）
金融・資本市場のプロ “証券アナリスト資格（CMA）” にチャレンジしよう！
第1レベル試験合格でも証券・銀行等金融機関・一般企業財務部門等への就職に有利！
現在多数の学習院大生が証券アナリスト通信教育講座を受講中です！
―お問い合わせ・資料請求先― 公益社団法人 日本証券アナリスト協会
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル5階　TEL: 03-3666-1511　FAX:03-3666-5843
E-mail: CMA®/CCMA : education@saa.or.jp

社告

記者募集

撮影　デジタル一眼レフを用いて、様々な被写体を撮影します。　カメラに興味のある方！

取材　色々な場所にインタビューに赴き、各方面の専門家の方にお話を伺います。　コミュ力UPしたい方！

執筆　取材した内容を構成して執筆し、記事にします。　文章力を磨きたい方！

お気軽にどうぞ！　黎明会館316号室へ!!

部費¥0

学習院大学新聞社　Gakushuin University Press

学外グルメをご賞味あれ!

学生街のない目白にも、飲食店は数多く存在する。今回は、駅周辺から路地裏までの名店を、本紙記者が魅力たっぷりに紹介したい。

Contact Info

- MAC's CARROT 03-3565-3668
- Cafe deux roues 03-3950-1466
- 吉祥庵 03-3565-5833
- ZOKA 03-5988-5578
- レフティ 03-3950-7973
- SION 03-3953-1540
- 目白農園 03-5982-4043

MAC's CARROT

満腹も満足もおまかせ

目白には、学習院生ならば一度は足を運んでほしい店が多々ある。中でも、ガッツリ食べられるお店といえば、真っ先にMAC's CARROTが思い浮かぶ。大きなガラス戸を開けると、そこには大人の空間が広がっている。こだわりの内装は、店主がこよなく愛するニューヨークのジャズバーをイメージしているという。深い茶色で統一された店内からは、心地よい音色が聞こえてくる。

この店で最近人気なのは、チキンカレー（1080円）だ。こんもり盛られたご飯の上から、二〇種類以上ものスパイスを利かせたルーがかかっている。この上に外はカリッと、中はジューシーなチキン。ナイフを入れる際には、溢れ出す肉汁に感嘆の声を上げずにはいられない。まずは、カレーを一口運ぶと、本格的なスパイスの香りがいっぱいに広がる。次は、チキンにたっぷりルーをつけていただこう。こちらにもペースト状のスパイスをもみ込んでいるので、味や香りが引き立てあって、食欲を大いに刺激する。

こちらに立ち寄ったなら、辛いもの以外に、ほんのり甘いシェークもおすすめだ。特に生のバナナをたっぷり使ったバナナシェーク（750円）は、優しい味に自然と笑みがこぼれる。グラスから落ちてしまいそうなほど大きなアイスクリームにも、注目してほしい。チョコレートソースがかかっており、甘さも幸せも倍増することだろう。

さて、この店が長年にわたって様々な人々に愛されてきた理由は、味だけではない。お客様の希望に添えるよう、多くのメニューが用意されているからだ。パスタは16種類、クラタンは7種類など、何度来店しても飽きがこない。さらに嬉しいのが、そのサイズ展開だ。運動部の学生やしっかり食べたい人におすすめの、Mサイズ。この他にもL、LL、3Lとあるので、友人と取り分けることも出来る。

みんなで食べれば一層美味しく感じられる。楽しい食事と素敵な雰囲気を味わいながら、この春、新しい友情を育んでみてはいかがだろうか。（登澤春香）

定休日…日曜、祝日
営業時間…10時～23時
※ラストオーダー22時半

おしゃれにひと休み

少し暇を潰したい、そんな時に便利なのが、目白駅を出てすぐ左に見える、NOKA目白店だ。シアトル発のコーヒーショップで、都内ではここのみの出店となる。店内は木を基調としたぬくもりのある造りで、広々とした2階は、ソファが用意されたくつろげるスペースだ。ほっと一息つける空間が広がっている。

人気のベイクドチーズケーキ（500円）は、しっとりしていて口当たりも非常になめらかだ。一口食べると、ほのかな酸味の後に濃厚なチーズのコクが口に広がる。バリスタが丁寧に淹れたコーヒーの風味とミルクのまろやかさが魅力のカフェラテ（380円）に合わせるのがおすすめだ。こちらには、ハートのラテアートが施されており、視覚的にも楽しめる。

学生がよく注文するという抹茶黒みつシェルキー（420円）は、和風ティストのフレーバーである。抑えられた甘味と苦味が絶妙に調和しており、非常に飲みやすい仕上がり。また、バナナとチョコレートのパウンドケーキ（500円）は、この店の中で焼き上げたこだわりの一品だ。もちろん、そのままでも十分おいしいが、添えられたソフトクリームをのせて食べれば、別の甘さを発見できるだろう。どちらも楽しみたい人には、好きな組み合わせを注文することが出来るケーキセット（680円～）を紹介したい。

その上、ここでは全商品をテイクアウトできる。開店時間が早いこともあって、キッシュやサンドイッチは、朝食や昼食に買っていく人も多いそうだ。メニューは季節ごとに変わるので、行くたびに新しいものを味わえる。

さらに、学生証を提示すると、全てのメニューが10%引きになるのがありがたい。静かで落ち着いた空間の中で、本格的なカフェを楽しめば、少し大人な気分を味わうことが出来るはずだ。（高橋悠里）

定休日…なし
営業時間
平日・土…7時～22時
日・祝日…8時～21時

ZOKA

心安らぐティータイム

二輪車の描かれた看板が目印のCafe deux roues（ドゥ・ルー）は、まるで隠れ家のような、落ち着いた雰囲気が魅力の店だ。柔らかな調光の店内は、暖炉がぬくもりを醸し出している。この店における一番のこだわりは「思いを込めた、手作りの美味しいものをお届けすること」だと言う。

毎朝焼き上げるケーキは、入ってすぐのショーケースに並ぶ。王道のクラシックショコラには洋酒が利かせてあり、とろける舌触りが絶品だ。また、旬の果物を贅沢に使用した季節のショートケーキは、絹のようなめらかさが特徴。ぜひ、ケーキセット（1050円）として堪能してほしい。

ランチタイムには、セットメニューはどうだろう。おすすめはサンドとケーキの両方が楽しめるBセット（1500円）だ。クリームチーズとスモークサーモンのサンドは、華やかな見た目が食欲をそそる。もちもちとしたフォカッチャ生地の食感と、香り豊かなサーモンの相性は抜群だ。まろやかなクリームチーズに加え、レタスやケッパーのアクセントも楽しめるだろう。

ここでのメニューに、売れ筋や決まった人気商品はないという。何を食べても「また食べたい」と思わせる美味しさで、頻繁に足を運ぶリピーターも多いとのこと。店先まで客を見送るオーナーの表情からは、客の一人ひとりを気遣う丁寧な姿勢が見受けられた。「ごちそうさま」・「ありがとう、またいらしてくださいね」といった、何気ないやりとりも心温まる。店名の「deux roues（ドゥ・ルー）」には、「…と共に」という意味が込められている。訪れた人々が時間を共有できる場を、という思いのもと、ここには時計が掛けられていない。忙しない日常の中でも、人とのつながりを大切にしたいという気持ちを大事にしているそうだ。とことん素材にこだわったメニューをすべて手作りしているのも、こうした「おもてなし」の心であるという。

この店は、30年以上も目白で時を刻み続けている。きっと誰もが、時間を忘れて極上のひとときを過ごせるだろう。（吉岡百合子）

定休日…火曜日（祝日の場合は営業）
営業時間…11時～19時

Cafe deux roues

目白で手繰る粋な味

風情ある佇まいを目白通りに構える吉祥庵では、厨房の前に置かれている石臼を使ったそばを堪能することが出来る。広すぎない店内は和の趣に満ちており、上質な空間が演出されていた。

まず、おすすめしたいのが、せいろ（680円）である。そば粉の豊かな風味が、鰹だしの利いためんつゆとよく絡む、この店定番の品だ。添えられる温かいそば湯と合わせて、最後まで香りを楽しみたい。さらにこの店では、四季折々の食材に合わせた料理を多彩に取り揃えている。特に、二色そば（880円）は、季節によって変わる材料が麺に練りこまれている人気の品だ。まさに、旬の味を満喫できること請け合いである。

もちろん、温かいそばも豊富だ。店のイチオシであるという大海老天南蛮（1240円）は、運ばれてきた瞬間に、ふんわりと柚子の香りが広がる逸品。黄金色の衣に包まれた海老が見た目も美しく、サクサクの天ぷらとそばのハーモニーは、何とも味わい深い。一品料理として提供されている各種天ぷらも好評だという。

「江戸前」をコンセプトとして掲げるこの店では、おいしい江戸前そばの「三たて」といわれる条件を基本としている。「挽きたて」「打ちたて」「茹でたて」の3つを守るべく、毎朝粉挽きを欠かさないのだそうだ。笑顔で語る店主からは、職人としての心意気がうかがえる。江戸時代に誕生したかけそば、花巻（800円）も、古典的ながらこだわりの品だ。店内に灯されている小ぶりなランプは、伝統工芸品として有名な江戸切子をアレンジしたもの。行き届いた思い入れには、誰もが至福の時間を過ごせる雰囲気作りがなされている。客層は50～60代が中心だそうだが、学生も多く来店するというため、気軽に訪れてみよう。ちなみに大学生のアルバイトも募集中だ。

時候に合わせて、様々に食材を変えるこの店には、旬を重んじる和の心が息づいている。口いっぱいに広がるそばの風味に、新たな季節の訪れを嚙みしめたい。（吉岡百合子）

定休日…なし
営業時間…11時半～22時半

吉祥庵

至福のランチ

駅前の大通りをふらっと曲がった裏路地。そこに、ひっそりと店を構えているのがCAFE・BAR レフティだ。開店から31年経つにもかかわらず、当時と変わらないアメリカン調の様式で、地元の人々から愛され続けている。カウンター席も用意されているので、一人でも入りやすい。独自の味付けとボリュームで学生からも人気だ。

定番メニューのオムライス（小800円）には、なんといっても、その大きさで驚かされる。皿からはみ出んばかりの玉子に、大きく盛られた野菜。横に添えられたポテトサラダは、リンゴの甘みと食感が食欲を促進させるのに一役買っている。野菜が不足しがちな学生にとっては嬉しい限りだろう。かけられたミートソースやサラダのドレッシングは全て自家製であり、ほのかな香りが鼻孔をくすぐる。分厚い玉子をスプーンで割ると、具沢山なチキンライスが顔を出す。ミートソースとの相性が抜群で、何度でも口に運びたくなる。鶏肉や卵をふんだんに使っているので、小でも満足できる大きさだ。極小から大まで用意されているので、食べきれない人やもっと食べたい人も安心して注文が出来る。

食後には甘い物などほかがだろうか。ヨーグルトドリンク（600円）は、フルーツを使ったラッシーのような飲み物だ。パインやオレンジなど様々な味が用意されており、のっているアイスクリームがさらに甘さを引き出す。これは、疲れた時に欲しくなるような味だ。

他にも、ピザやドリアなど、本格的な洋食が多数用意されている。また、夜のバーには380種類ものカクテルが用意されているという。その味に飽きることなく、たくさんの人が訪れるこの店。ぜひ、足を踏み入れてみよう。（玉城涼）

定休日…日曜日
営業時間…11時半～14時半
18時～24時

レフティ

優雅に楽しむ絶品韓国料理

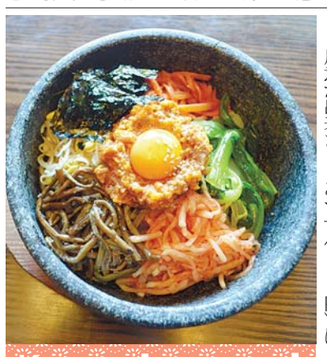
学内にいれば、無論、学食などで様々な料理を味わうことが出来るが、意外にも韓国料理とは縁遠い。そこでおすすめしたいのが、Korean Dining 'SION'である。店内は、大きな窓から入る陽の光で温かく、ゆったりとした時間が流れている。

この店のイチオシは、石焼ビビンバ（1200円）だ。運ばれてきた瞬間から、韓国海苔の香りが嬉しい限りだ。さらに、器の中には赤、黄、緑と鮮やかな具材が並ぶ。そもそもビビンバは、韓国語で混ぜご飯を意味している。そのため食べる前には、器の底からしっかりとかき混ぜるのが、正しい食べ方だという。用意が出来たら、あつあつのご飯を口へ運ぶ。様々な味が一口に凝縮されており、ほっこりとした幸せに包まれる。また、付属のコチュジャンは、お好みの量を入れてみてほしい。ピリッとするのはもちろんだが、深みやコクを生み出し、味をがらりと変えることが出来る。

また、スンドゥブチゲ（900円）は、辛さを求める人に知ってほしい一品だ。卵は食前に潰すとマイルドに、最後までとっておけば、半熟のままでいただくことが可能だ。ぐつぐつと煮える真っ赤なスープは、食欲をかき立ててくれる。中にはなめらかな豆腐が入っている。食べる時には、ざっくりとほぐして、唐辛子の風味を余すことなく味わおう。

ここでは、本格的な韓国料理を提供している。食事を始めれば、五感は日本に留まっていられないだろう。美味しいランチで、アジアに思いを馳せてみてほしい。（登澤春香）

定休日…日曜日
営業時間…11時半～14時半、17時～24時
※ラストオーダー23時半



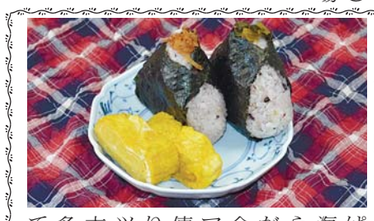
Korean Dining 'SION'

お昼の大定番

大学の昼休みは短い。ついつい昼食は適当に済ませてしまいがちだが、たまには、しっかり食事をとって午後に備えよう。おにぎり専門店である目白農園（営業時間…11時～19時、木曜のみ11時半～19時　定休日…日曜・祝日）は、線路沿いに池袋方面へ向かうと見つけられる。

昨年4月にオープンしたこの店は、テイクアウト制なので大学に戻ってからゆっくりと食べることが出来る。客層は幼稚園の父兄や地元の人が多いそうだが、学生にとっても便利ではないだろうか。おにぎりの種類は定番から珍しいものまで数多く用意されている。中でも、鮭おにぎり（230円）は、まさに王道だ。ぱりっとした海苔とふっくらした鮭の具がお米とよく合う。また、マヨネーズを使ったおにぎりも人気だ。ツナマヨ、明太マヨなどを多く取り揃えている。変わり種では生姜おかかおにぎり（190円）を紹介。醤油風味のおかかに、さっぱりとした生姜を混ぜている。二つの具材が新しい味を生み出す。しっかりとした食感で、食べごたえも十分だ。惣菜も販売しており、特にたまご焼き（130円）はほど良い甘みに塩味が利いており、おにぎりによく合う人気商品として陳列されている。

この少し贅沢なおにぎりのおいしさには秘訣がある。それは、健康に配慮した雑穀米となつぼしという品種を使って作られていること。さらには、注文を受けてから握るので、いつも出来立てだ。この店の大きいおにぎりは、見た目だけでも食欲をそそる。一度試してみれば、また訪れたくなること請け合いだ。また消費税引き上げに伴い、価格が変わるので注意してほしい。（高橋悠里）



お昼の大定番

新入生の皆さん、入学おめでとう!

学習院大学で充実した学生生活を送ってください。

「桜友会」は、学習院大学をはじめ、
学校法人学習院各学校の卒業生全員を会員とする約12万人の同窓会組織です。
在学生の皆さんが卒業すると自動的に会員になります。
事務局は目白キャンパス正門近くの学習院創立百周年記念会館2階にあります。
入学早々、同窓会といってもピンと来ないかもしれませんが、
課外活動のサポートや就職支援活動など、皆さんのこれからの学生生活を支えていく活動をしています。
若き同窓生の皆さん、私たちと一緒に新たな学習院の歴史を作っていきましょう。

一般社団法人　学習院桜友会
學習院同窓會 櫻友會
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院内　TEL03-3988-3288　FAX03-3988-3853
ホームページ　http://www.gakushuin-ouyukai.jp/

「桜友会」の学生支援活動

卒業生と学校・現役学生とのつながりが密接な学習院大学。

新入生サポートセミナー

各界で活躍する若手卒業生をパネリストに、学習院大学での学生生活についてアドバイスするセミナー。今年は4月7日（月）に開催します。

輔仁会課外活動助成金支給

課外活動の優秀団体を表彰し、助成金を支給しています。平成25年度は3月14日（金）に百周年記念会館で37団体・個人が表彰されました。

面接対策セミナー

就職支援の一環として、学習院大学では1月初旬に卒業生の企業採用担当者を中心に、模擬面接などを行っています。毎年1700名の学生が参加。

桜友会による輔仁会課外活動優秀団体の表彰式

【学習院同窓会「桜友会」の組織】［大学4学部・各学校別同窓会］経済学部同窓会、法学部同窓会、文学部同窓会、理学部同窓会、草上会（学習院女子大学・学習院女子短期大学）、中等科・高等科桜友会、初等科桜友会、幼稚園桜友会。［輔仁会各サークルの同窓会（輔仁会OB・OG会）］サークル別に約135団体。［勤務先・業種別同窓会（職域桜友会）］各企業、業種別に約200団体。［日本全国・海外の地域別同窓会］その地域の在住者および勤務者によって、全国各県を中心に51支部（全国支部）、世界各地に24支部（海外支部）。

4月13日（日）「オール学習院の集い」でお会いしましょう!

「桜友会」の活動全般については桜友会ホームページをご覧ください。http://gakushuin-ouyukai.jp/